

# キャリアアッププログラム2017（3学期）講座シラバス

【アドバンス科目】

科目名	ケースメソッドで鍛える経営構想力	
副題	広い経営の視野を求められてきたあなたのために	
受講対象者	会社の将来的な方向性について考えなければならない人、経営に関する新たな視点を求められている人、キャリアアップ・プログラムで学んだ知識を整理したい人	
講座概要	国内外のビジネススクールで採用されている講義形態のひとつがケースメソッドです。一方的に知識を取り入れる座学（インプット）とは異なり、自らの考えをまとめて言葉にする（アウトプット）ことで、知識を活用できるものにする教育方法です。本講座では6つの事例を題材に、「なぜ」「どのように」経営者は意思決定を下したのか。それは「正しかったのか」、「他にどのような選択肢があったのか」など、経営の視点から事例を分析して、議論を深めていきます。そうすることで、総合的な経営構想力に関する能力を高めていきます。	
到達目標	経営に関する知識を整理し、それぞれの位置づけと活かし方を、自分自身のなかで理解できるようになることを到達目標とします。	
授業計画 および開講日	第1回 1/18(火)	ビジネスと社会
	第2回 1/25(火)	ビジネスにおける創造的破壊
	第3回 2/1(火)	ビジネスの進化
	第4回 2/8(火)	ビジネス・モデルの転換
	第5回 2/15(火)	企業家精神とビジネス
	第6回 2/22(火)	ベンチャービジネスの躍進
授業の形式	ディスカッション（演習）形式	
授業の進め方	ディスカッション形式。宿題あり。事前に配布されたケースを読んできていただきます。講義ではその内容を議論します。	
教材などの追加負担	教材の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	ビジネスの世界は目まぐるしく変化し、新たな経営手法が次々と開発されています。ところが、こうした変化は表面的なものに過ぎず、本質的に重要なことは変わっていないことが多いのです。流行に振り回されない、本質的に重要なところをつかみにいくという姿勢でこの講義を進めていきたいと思います。ケースメソッドは国内外のビジネススクールが、代表的なところではハーバード・ビジネス・スクールが採用している教育方法です。一般的な座学とは異なる「学び」を体験していただければと思います。	
講師紹介	<p><b>山内 昌斗（やまうち まさと） 経済学部 経営学科 教授</b></p> <p>専門は国際経営史。2005年神戸商科大学（現、兵庫県立大学）大学院経営学研究科修了。同年本学講師、2008年より准教授、2016年より教授。博士（経営学）。外資の対日投資、ローカル企業のグローバル化を研究テーマとしている。主な著書に『新グローバル経営論』（共著、白桃書房）、『日英関係経営史』（単著、溪水社）など。</p>	